

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	04	01	14	地震災害救助に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	215千円	373千円	0千円	0千円
総人件費	1,574千円	1,540千円	0千円	
総事業コスト	1,789千円	1,913千円	0千円	

事務事業名	01	指定等文化財修復事業	指標名	補助件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	対象文化財の災害復旧費への補助件数。平成27年度までの事業。		
戦略プラン				2	4	-	-	-	-	-			
総合戦略				実績	2	2	-						
個別計画				H27年度				H28年度				その他の指標	
根拠法令等				改善目標	-				改善目標	-			
事業分類				事業計画	県指定有形文化財2件、国登録有形文化財2件の復旧工事に対して補助する。				事業計画	実施しない。			
執行体制				活動実績	・国登録有形文化財2件で実施した。 ・県指定有形文化財2件については経年劣化と震災被害との区分が不明瞭なことから補助事業不採択だった。				上半期活動実績	-			
事業の目的				成果	本来の形態に戻すとともに、今後の災害等にも強い修理を行うことができた。				上半期成果	-			
事業の概要				課題	-				課題	-			
ISO 14001				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	
環境				有効性	【終了】中：適切な成果が得られている				有効性	-			
関連性				効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
				総合評価	：事業の終了				総合評価	-			
				評価	理由				H29年度の方向性	-	理由	-	

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	215千円	373千円	0千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	215千円	373千円	0千円	0千円
人件費(B)	1,574千円	1,540千円	0千円	
正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.00人
時間外勤務	20.00時間	20.00時間	0.00時間	
臨時職員等	無	無	無	
事業コスト(A+B)	1,789千円	1,913千円	0千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	11	文化財保護審議会に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	138千円	146千円	222千円	0千円
総人件費	1,899千円	1,857千円	1,857千円	
総事業コスト	2,037千円	2,003千円	2,079千円	

事務事業名	01 文化財保護審議会事業	指標名	会議の実施回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	上下半期の各1回、会議を開催する。					
戦略プラン		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
		実績	2回	2回	-												
総合戦略		H27年度				H28年度				その他の指標	-						
個別計画	-	改善目標	-				改善目標	年3回の会議開催。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	文化財保護法 つくば市文化財保護審議会条例	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は7月に会議を開催し、前年度事業報告と本年度事業計画説明を行う。 下半期は12月に会議を開催し、毎年実施する小田城跡発掘調査視察及び年度途中報告を行う。 必要に応じて会議を開催し、諮問答申や各種文化財保護について議論する。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 現任期(平成26年7月1日～同28年6月30日)終了に伴う、新委員の選任をする。 上半期は7月に会議を開催し、前年度事業報告と本年度事業計画説明を行う。 上半期は12月に会議を開催し、毎年実施する小田城跡発掘調査視察及び年度途中報告を行う。 必要に応じて会議を開催し、諮問答申や各種文化財保護について議論する。 				内訳	事業費(A)	138千円	146千円	222千円	0千円
事業分類	B 任意的事業(小規模)	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は7月13日(月)に開催し、悉皆調査、小田城跡管理活用、文化財修復、指定候補物件その他について議論した。 下半期は12月21日(月)に開催し、小田城跡発掘調査を視察。さらにその復元整備後の特に管理方法、市指定天然記念物枯死による指定解除、天然記念物保存その他について議論した。 				活動実績	-					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ	成果	<ul style="list-style-type: none"> 諮問・答申は市指定天然記念物枯死による指定解除手続を行った。 その他、主要事業である小田城跡復元整備工事の整備や管理、指定文化財の修理、巨樹等の自然文化財調査その他について、保存・活用に関する深い議論ができた。 				成果	-					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議するため。	課題	保存・活用といった保護に関する意見をいただきながら、人手不足で実行に移せない部分がある。				課題	-					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 任期2年の委員10名による会議を、年2、3回開催し、各種文化財の現地調査も実施する。 文化財保護行政において、広範な知識を持つ外部有識者により、適切で公平な判断を行う。 	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円		0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-			一般財源	138千円	146千円	222千円	0千円		
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			人件費(B)	1,899千円	1,857千円	1,857千円			
			総合評価	A: 成果を維持して継続実施			総合評価	-			正職員	0.25人	0.25人	0.25人			
											時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
											臨時職員等	無	無	無			
											事業コスト(A+B)	2,037千円	2,003千円	2,079千円			
											H29年度当初積算根拠	-					
											H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	保存係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	12	文化財調査に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,590千円	7,203千円	6,810千円	0千円
総人件費	8,516千円	8,335千円	8,335千円	
総事業コスト	14,106千円	15,538千円	15,145千円	

事務事業名	01	文化財調査事業	指標名	調査件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	1 埋文調査数は開発等の発生状況に左右されるため、指標を設定できない。 2 悉皆調査数は27～29年度の現地調査数とし、27年度は追加調査が多く想定50件の2倍となったので、28・29年度は1.5倍とする。						
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
実績				-	50件	75件	75件	未定	未定	未定									
総合戦略				H27年度				H28年度				その他の指標	-						
個別計画				改善目標	-				改善目標	-				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等			文化財保護法	事業計画	1 埋蔵文化財調査は発生状況に左右されるが、月1件計12件実施と想定し実施して、開発等の円滑な推進を図る。 2 悉皆調査件は26年度のリストアップで150件だったことから、27年度からの3年間は平均の50件を年間調査件数とする。ただし、調査の過程で新規対象が生じた場合は適宜追加調査する。 3 必要に応じて各種文化財調査を行う。				事業計画	1 埋蔵文化財調査は発生状況に左右されるが、月1件計12件実施と想定し実施して、開発等の円滑な推進を図る。 2 悉皆調査件は現地調査の2年目で、桜・豊里地区を対象に50件を行い、その過程で新規対象が生じた場合は適宜追加調査する。 3 必要に応じて各種文化財調査を行う。				内訳	事業費(A)	5,590千円	7,203千円	6,810千円	0千円
事業分類			C 義務的事業	活動実績	1 埋蔵文化財調査は、の試掘・確認調査が31件、の本発掘調査が5件の計36件だった。 2 悉皆調査は荳崎・谷田部地区を対象とし、6月に区会へ実施通知を回覧して7月～3月まで調査を行った。追加対象が大幅に増えたため100件となった。 3 1月に面野井地区で有形文化財の下見調査を行った。				上半期活動実績	-				内訳	国庫支出金	1,870千円	2,557千円	2,672千円	0千円
執行体制			一部委託	成果	1 開発事業と文化財保存との円滑な調整、そのままでは失われてしまう文化財の保存・活用方法の検討ができたとともに、調査成果が市の財産にもなっている。 2 悉皆調査での件数増加は市民の関心を掘り起こした結果と考えられる。				上半期成果	-				内訳	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的			市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をするため。	課題	・埋蔵文化財の取扱・調整・各種手続は遺漏無く行われるようになってきているが、未だに何故行わなければならないのかという疑問を抱く事業者も多く、さらなる周知が必要である。 ・埋蔵文化財及び悉皆調査での大幅な調査件数増加は、そのまま時間外勤務の増大につながっている。				課題	-				内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要			1 埋蔵文化財調査 各種開発等に伴う試掘・確認調査 非営利目的での本発掘調査等 2 悉皆調査 各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査。26年度から5年計画で自然文化財調査1件を行う。 3 その他文化財の調査 その他必要に応じて各種調査を行う。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境性				評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-			内訳	一般財源	3,720千円	4,646千円	4,138千円	0千円
				評価	効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している			評価	効率性	-			内訳	人件費(B)	8,516千円	8,335千円	8,335千円	
				評価	総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施			評価	総合評価	-			内訳	正職員	従事割合	1.05人	1.05人	1.05人
													内訳	時間外勤務	200.00時間	200.00時間	200.00時間		
													内訳	臨時職員等	有	有	有		
													事業コスト(A+B)	14,106千円	15,538千円	15,145千円			
													H29年度当初積算根拠						
													H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	17,984千円	16,125千円	4,431千円	0千円
総人件費	6,186千円	6,052千円	4,937千円	
総事業コスト	24,170千円	22,177千円	9,368千円	

事務事業名	01 市管理文化財維持管理事業				指標名	管理文化財件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	市の概要	
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標				
戦略プラン					実績	9件	9件	9件	9件	9件	9件	9件				市が直接に草刈り・修繕等の維持管理をする文化財の件数	
総合戦略						9件	9件	-									
個別計画						H27年度				H28年度							
根拠法令等	文化財保護法, 茨城県文化財保護条例, つくば市文化財保護条例				改善目標	-				改善目標	-						
事業分類	A 任意的事業				事業計画	市内に所在する, 国4件・県29件・市84件の指定文化財, 3件の国登録文化財及び620ヶ所の周知の遺跡(埋蔵文化財)の適切な維持管理。 市有・管理物件の土地賃借, 草刈り, 修繕。 指定文化財等への説明板設置。 文化財保護団体への参加。				事業計画	市内に所在する, 国4件・県29件・市83件(1件指定解除)の指定文化財, 3件の国登録文化財及び620ヶ所の周知の遺跡(埋蔵文化財)の適切な維持管理。 市有・管理物件の土地賃借, 草刈り。 指定文化財等への説明板設置。 文化財保護団体への参加。 その他必要な業務。						
執行体制	一部委託				活動実績	日向廃寺跡の借地, 小田城跡・八幡塚古墳・日向廃寺跡等で草刈りを実施。 無し。 全国・茨城県の保護団体活動で, 陳情・総会等に参加。				上半期活動実績	-						
事業の目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録その他の文化財, 周知の遺跡等を次世代に良好な状態で継承することを目的に, 必要に応じた保護と維持管理を行うとともに, 活用のために必要な処理を講ずるため。				成果	指定等文化財の維持管理が適切にできた。 無し。 特に史跡の活用について意見交換や知見を得ることができた。				上半期成果	-						
事業の概要	文化庁, 茨城県及び市文化財保護審議会, 文化財保護指導員その他の専門家の指導を仰ぎながら, 対象文化財を適切に維持・管理・整備等を行う。また, 市指定史跡保存のための民有地の賃借や, 史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換を行う。				課題	史跡土地購入に伴い管理する土地が増加しており, 維持管理費の検討が必要である。				課題	-						
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001	-	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-						
環境	-	-	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-						
関連性	-	-	-	-	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-								
													H29年度当初積算根拠				
														H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	15,085千円	14,866千円	3,838千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	6千円	13千円	8千円	0千円
一般財源	15,079千円	14,853千円	3,830千円	0千円
人件費(B)	3,093千円	3,026千円	3,026千円	
正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人
内訳	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間
	臨時職員等	無	無	無
事業コスト(A+B)	18,178千円	17,892千円	6,864千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	17,984千円	16,125千円	4,431千円	0千円
総人件費	6,186千円	6,052千円	4,937千円	
総事業コスト	24,170千円	22,177千円	9,368千円	

事務事業名	02 文化財保護指導員事業	指標名	-				指標種別					指標の概要	-			
戦略プラン		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		実績	-	-	-											
個別計画		改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標					
根拠法令等	つくば市文化財保護指導員設置規則	事業計画	1名が出土文化財管理センターにて、文化財の調査・資料整備・連絡調整等に従事する。				市管理文化財維持管理事業(の上欄)と統一させる(市内の文化財に精通する必要があるため市内在住者が望ましいが、自然科学系と異なり人文科学系の歴史・文化財の専門的知識を有する方を見いだすことができないので、適任者を探すことを続けるが、事業展開が難しいため)。				事業実施コスト					
事業分類	A 任意的事業	活動実績	10年以上従事していた専門家が平成26年度末に退任した後の後任者が見つからず、活動せず。				上半期活動実績				H26年度決算					
執行体制	職員のみ	成果	無し。				上半期成果				H27年度決算					
事業の目的	文化財の保護・活用を図るため。	課題	後任適任者の選任。				課題				H28年度当初					
事業の概要	文化財の調査・資料整備・連絡調整等、文化財の保護・活用に関するを行う。	事業の進捗状況	未達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-		H29年度当初積算根拠			
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	低：成果が低下(低水準を維持)している			有効性	-			H29年度の方向性					
			効率性	低：費用対効果が低下(低水準を維持)している			効率性	-			理由					
			総合評価	E：事業の抜本的な見直し(縮小・廃止)の必要有り			総合評価	-								

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	1,950千円	0千円	0千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	1,950千円	0千円	0千円	0千円
人件費(B)	1,139千円	1,115千円	0千円	
正職員	従事割合	0.15人	0.15人	0.00人
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
臨時職員等	有	無	無	
事業コスト(A+B)	3,089千円	1,115千円	0千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	13	文化財維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	17,984千円	16,125千円	4,431千円	0千円
総人件費	6,186千円	6,052千円	4,937千円	
総事業コスト	24,170千円	22,177千円	9,368千円	

事務事業名	03 民有文化財補助事業				指標名	補助件数				指標種別	活動結果指標							
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要					
戦略プラン					実績	6	6	6	6	6	6	6	指定文化財の維持活動費への補助					
総合戦略						4	6	-					その他の指標					
個別計画					H27年度				H28年度									
根拠法令等	文化財保護法, 茨城県文化財保護条例, つくば市文化財保護条例				改善目標	-				改善目標	-							
事業分類	A 任意的事業				事業計画	市指定無形民俗文化財の活動補助。国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助。				事業計画	市指定無形民俗文化財の活動補助。国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助。				事業実施コスト			
執行体制	職員のみ				活動実績	6件に補助。国指定建造物の屋根修繕等				上半期活動実績	-				H26年度決算			
事業の目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録文化財を次世代に良好な状態で継承するための各種経費のうち、必要に応じた経費を補助することで、当該文化財を保護するため。				成果	国民共有財産とされる指定等文化財の所有・管理者負担を軽減しながら文化財の保存が可能となった。				上半期成果	-				H27年度決算			
事業の概要	指定・登録文化財の管理・修理について、所定の手続を行いながら、その経費の一部を予算の範囲内で補助する。				課題	数百万円を越える修繕事業への対応。				課題	-				H28年度当初			
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠					
ISO 14001 環境関連性					評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-					
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている					効率性	-					
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-					
													H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	14	市史編纂に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,249千円	3,437千円	3,910千円	0千円
総人件費	1,954千円	1,911千円	1,911千円	
総事業コスト	5,203千円	5,348千円	5,821千円	

事務事業名		01 市史編纂事業		指標名	図書の刊行数。				指標種別	活動結果指標				指標の概要	整理・解読の終了した史・資料について、冊子として刊行する。																																							
戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																																											
実績					1冊	1冊	1冊		1冊	1冊																																												
総合戦略				H27年度					H28年度					その他の指標	-																																							
改善目標				-					史料集等は販売しており、その売上高を前年度比で5%上昇させる。																																													
個別計画				事業計画		<ol style="list-style-type: none"> 県内でも古文書読解の第一人者により、江戸時代後期の谷田部地区に関する文書を読解する、 年度末に史料集を1冊刊行する。 未発見史・資料の調査し記録する。 市関連史・資料を入手する。 								事業実施コスト		<table border="1"> <tr> <th>事業実施コスト</th> <th>H26年度決算</th> <th>H27年度決算</th> <th>H28年度当初</th> <th>H29年度当初</th> </tr> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>3,249千円</td> <td>3,437千円</td> <td>3,910千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>154千円</td> <td>123千円</td> <td>220千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,095千円</td> <td>3,314千円</td> <td>3,690千円</td> <td>0千円</td> </tr> </table>				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	3,249千円	3,437千円	3,910千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	154千円	123千円	220千円	0千円	一般財源	3,095千円	3,314千円	3,690千円	0千円
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初																																																		
事業費(A)	3,249千円	3,437千円	3,910千円	0千円																																																		
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																		
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																		
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円																																																		
その他特財	154千円	123千円	220千円	0千円																																																		
一般財源	3,095千円	3,314千円	3,690千円	0千円																																																		
根拠法令等				活動実績		<ol style="list-style-type: none"> 江戸時代後期の谷田部地区に関する文書を読解した。 1の成果をもとに、市史料集第十二編 - 谷田部藩(中) - を刊行した。 市内民有古文書の読解を行った。 近世文書類6点を購入した。 								内訳		<table border="1"> <tr> <td>人件費(B)</td> <td>1,954千円</td> <td>1,911千円</td> <td>1,911千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>従事割合</td> <td>0.25人</td> <td>0.25人</td> <td>0.25人</td> </tr> <tr> <td>時間外勤務</td> <td>20.00時間</td> <td>20.00時間</td> <td>20.00時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員等</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </table>				人件費(B)	1,954千円	1,911千円	1,911千円		正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.25人	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間		臨時職員等	有	有	有																
人件費(B)	1,954千円	1,911千円	1,911千円																																																			
正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.25人																																																		
時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間																																																			
臨時職員等	有	有	有																																																			
事業分類		A 任意的事業		成果		江戸時代後期の谷田部地区に関する文書を読解し、年度末に史料集を1冊刊行した。								事業コスト(A+B)		5,203千円 / 5,348千円 / 5,821千円																																						
執行体制		職員のみ		課題		統一した通史の市史を持たない本市だが、現状では組織的・本格的な編纂事業を組むのが厳しい状況にあり、現在は史・資料散逸を防ぐための収集・調査・史料集を刊行するという状況が続いており、何れ通史の市史を準備する必要がある。								H29年度当初積算根拠		-																																						
事業の目的		歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝えるため。		事業の進捗状況		達成								事業の進捗状況		-																																						
事業の概要		<ol style="list-style-type: none"> 保有史・資料の整理及び解読作業：江戸時代の近世文書を中心に行う。 史・資料集の刊行：整理・解読の終了した史・資料について、史・資料集を刊行する。 未発見史・資料の調査及び記録：記録は写真やデジタルデータ化も行う。 市関連史・資料の入手：古書店等からの購入も含む。 		目標の進捗状況		-								目標の進捗状況		-																																						
ISO 14001 環境関連性		-		評価		<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td colspan="3">高：成果が向上(高水準を維持)している</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td colspan="3">高：費用対効果が向上(高水準を維持)している</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td colspan="3">S：成果・費用対効果を維持して継続実施</td> </tr> </table>								有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している			効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している			総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施			評価		<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td colspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td colspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td colspan="3">-</td> </tr> </table>				有効性	-			効率性	-			総合評価	-			H29年度方向性		理由 -								
有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している																																																					
効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している																																																					
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施																																																					
有効性	-																																																					
効率性	-																																																					
総合評価	-																																																					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	180,088千円	226,808千円	64,555千円	0千円
総人件費	10,579千円	10,357千円	10,357千円	
総事業コスト	190,667千円	237,165千円	74,912千円	

事務事業名	01 小田城跡保存・活用事業		指標名	復元整備工事の進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	復元整備工事全体に占める累計の工事進捗率。
	戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
			実績	80%	98%	-					
総合戦略				H27年度				H28年度			
個別計画			史跡小田城跡保存整備基本計画	改善目標				改善目標			
根拠法令等			文化財保護法	事業計画				事業計画			
事業分類			A 任意的事業	活動実績				活動実績			
執行体制			一部委託	成果				成果			
事業の目的			中世常陸の一大中心地だった、国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備するため。	課題				課題			
事業の概要			土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了し、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収する。復元整備は、平成21～27年度に、史跡(約22ha)中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン(約4.2ha)で実施し、合わせて展示機能を持つ案内所を建設する。	事業の進捗状況				事業の進捗状況			
ISO 14001 環境関連性			-	評価				評価			
			有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				有効性			
			効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性			
			総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価			
			事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業実施コスト			
			事業費(A)	172,284千円	222,300千円	57,949千円	0千円	事業費(A)			
			国庫支出金	88,492千円	115,817千円	32,361千円	0千円	国庫支出金			
			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金			
			地方債	59,200千円	63,800千円	0千円	0千円	地方債			
			その他特財	0千円	0千円	8,600千円	0千円	その他特財			
			一般財源	24,592千円	42,683千円	16,988千円	0千円	一般財源			
			人件費(B)	4,991千円	4,888千円	4,888千円		人件費(B)			
			正職員	従事割合	0.55人	0.55人	0.55人	正職員			
			時間外勤務	300.00時間	300.00時間	300.00時間		時間外勤務			
			臨時職員等	無	無	無		臨時職員等			
			事業コスト(A+B)	177,275千円	227,188千円	62,837千円		事業コスト(A+B)			
			H29年度当初積算根拠	-				H29年度当初積算根拠			
			H29年度の方向性	-				理由			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	180,088千円	226,808千円	64,555千円	0千円
総人件費	10,579千円	10,357千円	10,357千円	
総事業コスト	190,667千円	237,165千円	74,912千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事務事業名	02	小田城跡保存整備委員会事業	指標名	会議の実施回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標		
戦略プラン				4回	4回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	専門部会も含めた回数。	
総合戦略				実績	4回	4回	-						
個別計画		史跡小田城跡保存整備基本計画	改善目標	H27年度				H28年度					
根拠法令等			事業計画	本委員会を1回，専門部会を3回開催する。				事業計画 本委員会を1回，専門部会を2回開催する。また，本委員会専門部会員を中心に9月24日にシンポジウムを開催する。					
事業分類		C 義務的事業	活動実績	1月14日(水)に本委員会を，8月25日(火)・11月27日(金)に専門部会をそれぞれ開催し，1回は都合がつかなかったため個別に意見を伺った。復元整備工事の進捗状況及び発掘調査計画・調査状況を視察して，多くの指導意見を得た，				上半期活動実績					
執行体制		職員のみ	成果	本委員会では一般レベルの意見を受け，専門部会では全国レベルの専門的指導を受けながら，どちらか一方に偏らないバランスの取れた協議を続けることが出来ている。				上半期成果					
事業の目的		文化庁の指導により，「小田城跡」の保存・活用及び確認調査事業を，総合的・効果的に推進を進めるための指導組織が必要なため。	課題	-				課題					
事業の概要		構成員は地元住民代表・市議会代表・専門研究者等で，公有化・発掘調査・復元整備・管理活用・その他必要な事項について協議する。また特に専門的事項は別に専門部会を置いて指導を受ける。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001 関連性	-	-	評価	有効性	高：成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-				
				効率性	高：費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-				
				総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-				
												H29年度当初積算根拠	
												H29年度当初積算根拠	
												H29年度の方向性	
												理由	

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	334千円	337千円	654千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	334千円	337千円	654千円	0千円
人件費(B)	1,139千円	1,115千円	1,115千円	
正職員	従事割合	0.15人	0.15人	0.15人
正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	1,473千円	1,452千円	1,769千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	15	小田城跡に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	180,088千円	226,808千円	64,555千円	0千円
総人件費	10,579千円	10,357千円	10,357千円	
総事業コスト	190,667千円	237,165千円	74,912千円	

事務事業名	03 小田城跡確認調査事業	指標名	累計調査面積				指標種別	成果指標	指標の概要	発掘調査面積の合計。	
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
戦略プラン			3700㎡	4000㎡	4200㎡	4500㎡					
総合戦略			実績	3774㎡	4122㎡	-					
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画	改善目標	H27年度				H28年度				
根拠法令等	文化財保護法, 史跡小田城跡保存整備基本計画	事業計画	発掘調査を史跡南西付近の曲輪の西側約300㎡で実施し, 以前調査した出土木製品の保存処理も行う。また12月第1土曜日に現地説明会を開催する。				事業計画 10～2月に, 発掘調査を史跡西付近の曲輪西側と周辺の堀跡を中心に約200㎡で実施し, 以前調査した出土木製品の保存処理も行う。また12月第1土曜日に現地説明会を開催する。				
事業分類	A 任意的事業	活動実績	発掘調査は10月～2月に348㎡(平成27年度までの累計4,122㎡)で実施し, 小田城最後の時代の平坦な生活面の下で堀跡を確認した。木製品は15点保存処理した。現地説明会は12月5日(土)に開催し, 146名の参加があった。				上半期活動実績 -				
執行体制	職員のみ	成果	発掘調査で下層で堀跡を確認したことにより, 地下の複雑な構造が広範囲にわたることが本年度も明らかになり, その成果を一般市民にも伝えることができた。				上半期成果 -				
事業の目的	買収した土地等, 「小田城跡」の地下状況を把握, 確認するため。	課題	宅地密集地である市街化区域での発掘調査の実施。				課題 -				
事業の概要	国指定史跡「小田城跡」本丸周辺部(遺構保全ゾーン)約71,000㎡のうち, 4,500㎡を目安に平成9～30年度(現地調査は29年度まで)で発掘調査を実施する。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-			
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			
		その他の指標	現地説明会の参加人数。								
		事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初					
		事業費(A)	7,470千円	4,171千円	5,952千円	0千円					
		内訳	国庫支出金	3,659千円	2,043千円	2,523千円	0千円				
			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円				
			一般財源	3,811千円	2,128千円	3,429千円	0千円				
		人件費(B)	4,449千円	4,354千円	4,354千円						
		内訳	正職員	従事割合	0.55人	0.55人	0.55人				
			時間外勤務	100.00時間	100.00時間	100.00時間					
			臨時職員等	有	有	有					
		事業コスト(A+B)	11,919千円	8,525千円	10,306千円						
		H29年度当初積算根拠	-								
		H29年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	16	文化財展示施設管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	15,205千円	16,618千円	36,857千円	0千円
総人件費	5,072千円	4,963千円	4,963千円	
総事業コスト	20,277千円	21,581千円	41,820千円	

事務事業名	01 文化財展示施設管理事業				指標名	収蔵資料利用件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	収蔵資料の閲覧・写真撮影複写・掲載及び貸出等の利用件数		
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標	-				
					実績	30件	32件	-										
総合戦略					H27年度				H28年度				改善目標	改善目標				
個別計画					改善目標					改善目標	老朽化が進む施設・設備の突発的な破損や劣化に対し、発生してから3か月以内に対応する。							
根拠法令等	つくば市文化財展示施設条例及び同条例施行規則				事業計画	収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つ。				事業計画	収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つとともに、有効に活用して教育、研究に資する。							
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	・収蔵資料の貸出・閲覧等の利用，資料の写真掲載等の利用が32件あった。 ・老朽化が進む施設のうち，平沢官衙遺跡歴史ひろばの外水道及び雨樋，桜歴史民俗資料館のトイレ改修，出土文化財管理センターの扉の修繕，収蔵庫照明機器の取換え等を行った。				上半期活動実績	-							
執行体制	一部委託				成果	収蔵資料及び施設を適切かつ良好な状態に保つとともに，資料貸出業務を通じて市外の方々に，つくば市の歴史と文化への知識と理解を深め，合わせて学術の発展に資することができた。				上半期成果	-							
事業の目的	市内から出土した文化財，史料及び民俗資料を中心とした資料の収集・整理並びに復元整備した史跡の保存と展示を行い，つくば市文化財展示施設等（桜歴史民俗資料館，出土文化財管理センター，平沢官衙遺跡歴史ひろば，谷田部郷土資料館）の収蔵資料や施設の維持管理するため。				課題	老朽化が進む施設・設備の修繕を，市の公共施設マネジメントと連動させながら計画的に実施する必要がある。				課題	-							
事業の概要	・収蔵資料を適切に管理し，貸出等の利用手続きを申請に応じて適宜行う。 ・施設の維持管理のため諸法令に定められた業務，植栽や設備の維持管理，機械警備，収蔵資料の燻蒸処理等の業務を専門業者に委託して実施し，施設を常に適切かつ良好な状態に保つ。 桜歴史民俗資料館には，桜窓口センターが含まれる。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001 関連性	環境性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-						
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-								
事業実施コスト															H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)															15,205千円	16,618千円	36,857千円	0千円
国庫支出金															0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金															0千円	0千円	0千円	0千円
地方債															0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財															59千円	55千円	48千円	0千円
一般財源															15,146千円	16,563千円	36,809千円	0千円
人件費(B)															5,072千円	4,963千円	4,963千円	
正職員															従事割合	0.65人	0.65人	0.65人
時間外勤務															50.00時間	50.00時間	50.00時間	
臨時職員等															有	有	有	
事業コスト(A+B)															20,277千円	21,581千円	41,820千円	
H29年度当初積算根拠															-			
H29年度当初積算根拠															-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	17	金田官衙遺跡に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	119,641千円	123,739千円	195,906千円	0千円
総人件費	1,655千円	1,620千円	1,620千円	
総事業コスト	121,296千円	125,359千円	197,526千円	

事務事業名	01	金田官衙遺跡保存・活用事業		指標名	累計土地買収面積				指標種別	成果指標	指標の概要	買収対象面積約7.1haに対する当該年度までの累計面積。	
戦略プラン	3	12	文化財保護の推進	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
				実績	2.0ha	2.4ha	-						
総合戦略				H27年度				H28年度				その他の指標	-
個別計画				改善目標	-				改善目標	取得面積が増え、議会で財産取得の議決を得る必要が生じるため、手続きの変更と増加に対処する必要がある。			
根拠法令等	文化財保護法			事業計画	12年計画の6年目で、史跡東・中部の5筆、4,121.20㎡を買収する。				事業計画	小田城跡復元整備事業の終了を受けて、昨年度までの買収予定面積毎年4千㎡前後を、その1.5倍強の毎年6千5百㎡前後として実施する。			
事業分類	A	任意的事業		活動実績	5筆、4,121.20㎡を買収し、平成22年度からの累計面積が2.4haとなった。				上半期活動実績	-			
執行体制	一部委託			成果	土地買収により、文化財の保全が進むとともに、TX沿線開発が良好な形で円滑に進行するという効果も図れる。				上半期成果	-			
事業の目的	中根・金田台特定土地区画整理事業内の歴史緑空間用地に含まれる国指定史跡「金田官衙遺跡」の土地を保存するため。			課題	国指定史跡は現状変更が厳しく制限され(許可は文化庁長官)、地権者が土地利用を望んでも認められない場合があることから、土地は行政が買収する必要があるため、地権者の理解を得ながら計画的に実施する必要がある。				課題	-			
事業の概要	平成15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」により、史跡内の公有地除く約7.1haを、国庫補助を受けて同機構から平成22～33年の12年計画で買収する。			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-			
					効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-			
					総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-			
											H29年度当初積算根拠	-	
											H29年度の方向性	-	
											理由	-	

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	119,641千円	123,739千円	195,906千円	0千円
国庫支出金	95,606千円	98,991千円	156,723千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	29,380千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	24,035千円	24,748千円	9,803千円	0千円
人件費(B)	1,655千円	1,620千円	1,620千円	
正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人
時間外勤務	50.00時間	50.00時間	50.00時間	
臨時職員等	無	無	無	
事業コスト(A+B)	121,296千円	125,359千円	197,526千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,063千円	3,124千円	1,879千円	0千円
総人件費	7,053千円	6,904千円	6,904千円	
総事業コスト	10,116千円	10,028千円	8,783千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	18	歴史文化教育・活用に要する経費

事務事業名	01	学校での伝統文化教育支援事業		指標名	講座・説明件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要					
				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の件数。							
戦略プラン		3	12	文化財保護の推進		25件	25件	25件	25件	25件	25件	25件							
総合戦略						27件	30件	-					その他の指標	学校教諭対象の説明研修会の開催(最低限1回)。					
個別計画				H27年度				H28年度											
根拠法令等				改善目標	-				改善目標	子供向けのつくば市の歴史や文化財の市ホームページへの掲載。									
事業分類				事業計画	出前講座・文化財施設見学説明。学校教諭対象の説明研修会の開催。つくば市の歴史や文化財を、教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供。				事業計画	出前講座・文化財施設見学説明。学校教諭対象の説明研修会の開催。つくば市の歴史や文化財を、教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
執行体制				活動実績	校内や近接地での出前講座や展示施設での説明案内により、市内外の子供達につくば市の歴史や文化財を伝えることができた。学校教諭対象の説明研修会は2回開催した。パンフレット類は1種類15,000部刊行し各校に配布した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	241千円	154千円	250千円	0千円	
事業の目的				成果	歴史資料や文化財に触れることで、多くの子供達が、郷土の歴史に関心と愛着を持つ機会が増えた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要				課題	義務的な業務で、増加する一方の各種調査業務や施設等の維持管理業務への従事に時間を取られ、本事業に本格的に取り組めないこと。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	-	人件費(B)	4,232千円	4,140千円	4,140千円			
環境性				評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		-	正職員	従事割合	0.55人	0.55人	0.55人		
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		-	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		-	臨時職員等	有	有	有			
													事業コスト(A+B)	4,473千円	4,294千円	4,390千円			
													H29年度当初積算根拠						
													H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	3,063千円	3,124千円	1,879千円	0千円
総人件費	7,053千円	6,904千円	6,904千円	
総事業コスト	10,116千円	10,028千円	8,783千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	文化財課	調査係・活用係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	03	18	歴史文化教育・活用に要する経費

事務事業名	02 文化財展示講座等事業		指標名	企画展開催に伴う講演会等の回数				指標種別	活動結果指標		指標の概要																																																													
	3	12	文化財保護の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																																																														
戦略プラン			目標値	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催回数																																																													
総合戦略			実績	2回	2回	-																																																																		
個別計画			改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標																																																												
根拠法令等	文化財保護法, 市教育振興基本計画		事業計画	ショールーム推進に協力する企画展や講演会等の開催。前・後期各10回での講座を開講 平沢官衙遺跡歴史ひろばで、春の復元建物開扉・夏のライトアップ・秋のつくば物語・冬の芝焼きと防火訓練を開催。				小田城跡歴史ひろば開園に伴う企画展やシンポジウム等の開催。前・後期各10回での講座を開講 平沢官衙遺跡歴史ひろばで、春の復元建物開扉・夏のライトアップ・秋のつくば物語・冬の芝焼きと防火訓練を開催。 小田城跡歴史ひろばで、4月29日に開園行事を開催する。																																																																
事業分類	A 任意的事業		活動実績	巡回企画展『つくばの地形と歴史』を市庁舎・谷田部郷土資料館等で行い11,524名の見学者があり、筑波大学准教授による講演会は95名が拝聴し、小田城跡親子発掘体験には8組19名が参加した。 古文書講座を前・後期開催し、のべ59名が勉強した。 平沢官衙遺跡での催事は、4事業で合計6,400名以上の参加があった。				上半期活動実績				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施コスト</th> <th>H26年度決算</th> <th>H27年度決算</th> <th>H28年度当初</th> <th>H29年度当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>2,822千円</td> <td>2,970千円</td> <td>1,629千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>1,015千円</td> <td>1,015千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>154千円</td> <td>169千円</td> <td>145千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,653千円</td> <td>1,786千円</td> <td>1,484千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>人件費(B)</td> <td>2,821千円</td> <td>2,764千円</td> <td>2,764千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>従事割合</td> <td>0.30人</td> <td>0.30人</td> <td>0.30人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>時間外勤務</td> <td>200.00時間</td> <td>200.00時間</td> <td>200.00時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員等</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業コスト(A+B)</td> <td>5,643千円</td> <td>5,734千円</td> <td>4,393千円</td> </tr> </tbody> </table>	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	2,822千円	2,970千円	1,629千円	0千円	国庫支出金	1,015千円	1,015千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	154千円	169千円	145千円	0千円	一般財源	1,653千円	1,786千円	1,484千円	0千円	人件費(B)	2,821千円	2,764千円	2,764千円		正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	内訳	時間外勤務	200.00時間	200.00時間	200.00時間		臨時職員等	有	有	有		事業コスト(A+B)	5,643千円	5,734千円	4,393千円
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初																																																																				
事業費(A)	2,822千円	2,970千円	1,629千円	0千円																																																																				
国庫支出金	1,015千円	1,015千円	0千円	0千円																																																																				
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																				
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																				
その他特財	154千円	169千円	145千円	0千円																																																																				
一般財源	1,653千円	1,786千円	1,484千円	0千円																																																																				
人件費(B)	2,821千円	2,764千円	2,764千円																																																																					
正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人																																																																				
内訳	時間外勤務	200.00時間	200.00時間	200.00時間																																																																				
	臨時職員等	有	有	有																																																																				
	事業コスト(A+B)	5,643千円	5,734千円	4,393千円																																																																				
執行体制	職員のみ		成果	巡回企画展『つくばの地形と歴史』を市庁舎・谷田部郷土資料館等で行い11,524名の見学者があり、筑波大学准教授による講演会は95名が拝聴し、小田城跡親子発掘体験には8組19名が参加した。 古文書講座を前・後期開催し、のべ59名が勉強した。 平沢官衙遺跡での催事は、4事業で合計6,400名以上の参加があった。				上半期成果																																																																
事業の目的	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与するため。		課題	義務的な業務である、増加する一方の各種調査業務や施設等の維持管理業務への従事に時間を取られ、本事業に本格的に取り組めないこと。				課題																																																																
事業の概要	展示施設や市庁舎を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施。 古文書読解等の文化財講座の実施。 平沢官衙遺跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠 H29年度の方向性 理由																																																													
ISO 14001 環境関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-																																																															
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-																																																															
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-																																																															